



# 基金残高の見通しは

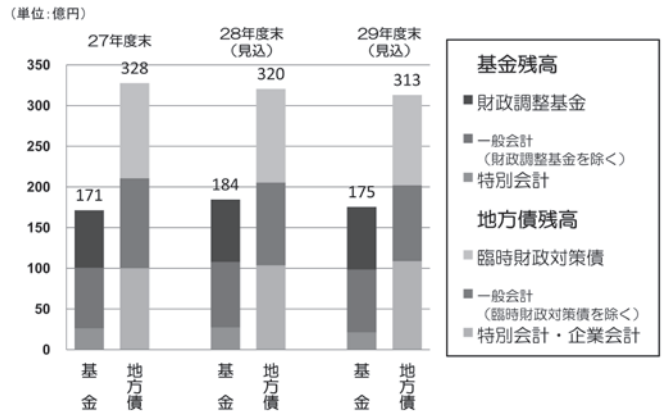
近藤 武 議員

財政調整基金は、  
34年度は三分の一以下に

総務部長

**総務部長** 本市の財政は、極めて厳しい状況に直面しているが、さらなる発展のため、喫緊の課題に着手に対応する必要があります。市長選挙の実施のため、骨格予算での編成だが、限られた財源を

可能な限り、重点的かつ効率的に配分し、国の補正予算を3月補正予算とあわせ、施策を切れ目なく実施する。  
**中期的な財政見通しの中、基金の活用可能額は、**  
**総務部長** 財政調整基金を含め、基金全体の半分以下の約80億円程度だ。  
**基金残高の見通しは、**  
**総務部長** 29年度当初予算を基準としての機械的試算だが、30年度以降、毎年度5〜14億円の



▲愛西市の基金・地方債残高



▲サマーセミナーの風景

財源不足が生じる。財源不足の対策に基金を取り崩していくと、34年度には、財政調整基金においては、現在の三分の一以下まで減少する試算がある。  
**子ども達に対する市の取り組みは**  
**教育現場での取り組み**  
**教育部長** 出前授業や学校保健総合事業、防災教育を中心とした実践的安全教育総合事業などがある。

**子どもの心の健康づくり事業の特徴は、**  
**健康福祉部長** 行政と学校の先生方が内容を検討する「作業部会」、地域の方を巻き込んで子どもの発達段階に合わせた複数の事業、医師会、学校関係者、保護者等の代表者や大学教授、保健所長等の関係者で組織する「事業推進実行委員会」により、小学校での「二つの一成人式」中学校での「サマーセミナー」の「いのちの授業」を継続的に推進できる環境がある。